

但馬の経済指標

令和6年1月～3月

兵庫県但馬県民局

【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より12.6ポイント減少し、-6.6となった。

②有効求人倍率は、3月期1.50倍。前年同月と比べて0.11ポイント増加した。

	項目	今期(1月～3月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫	△ 6.6	△ 12.6	+ 3.1
2	雇用	3月	対前月(増減)	対前年同月(増減)	
		有効求人倍率	1.50	△ 0.07	+ 0.11
		3月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		有効求人数(人)	4,053	△ 4.03	+ 4.84
		有効求職者数(人)	2,700	+ 0.19	△ 3.26
	雇用保険受給者実人員(人)	397	△ 4.34	△ 7.24	
3	金融	3月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		普通貸付残高(百万円)	12,352	△ 1.58	△ 8.39
		3月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		信用保証承諾額(百万円)	1,403	+ 107.85	△ 47.26
	信用保証債務残高(百万円)	57,190	△ 0.81	△ 5.12	
4	公共工事	3月	前月比(%)	前年同月比(%)	
		公共工事請負金額(百万円)	2,123	+ 13.77	+ 101.81
参考	企業倒産(全県)	今期(1～3月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)	
		件数	157	△ 1	+ 42
		負債総額(百万円)	9,948	△ 1,195	△ 9,214
5	地場産業	豊岡かばん	売上高、生産量、収益とも変わらず。	売上高、生産量、収益とも変わらず。	

1 業況判断

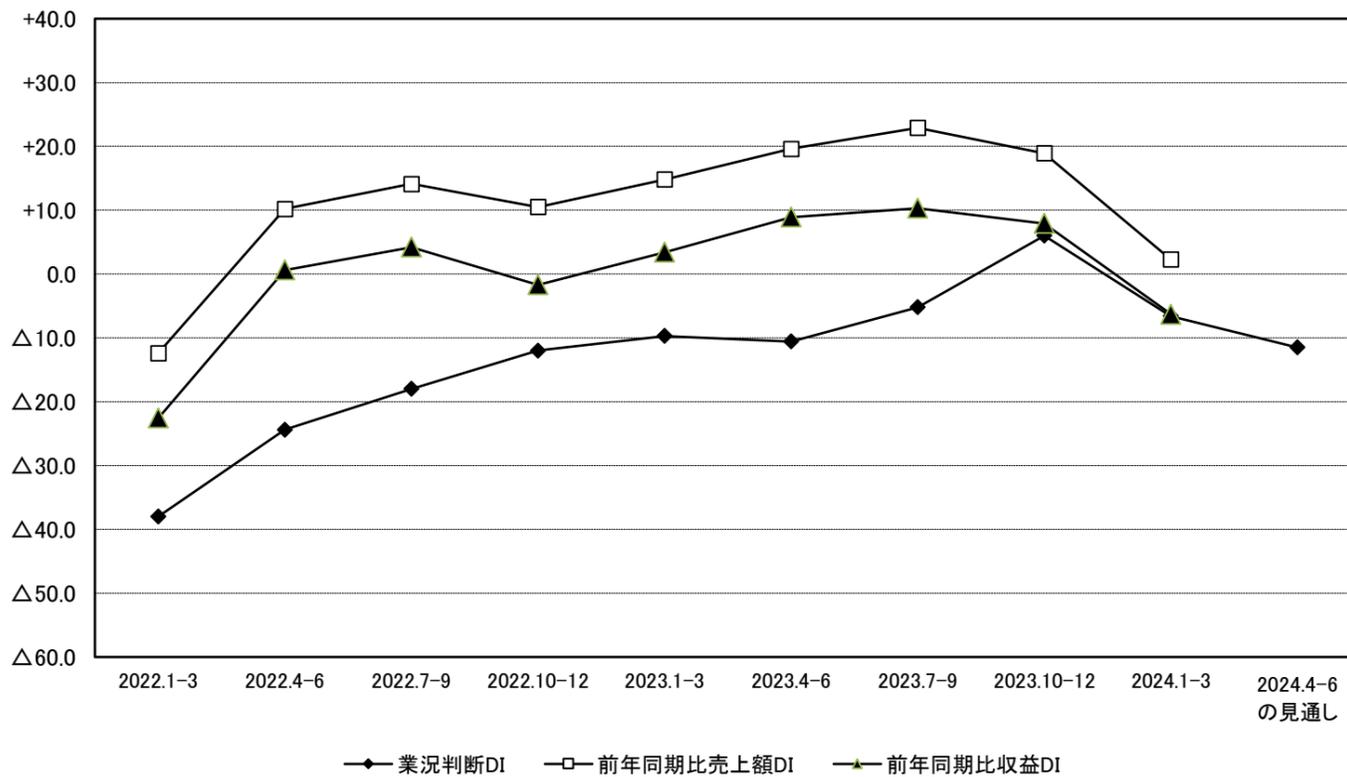
但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より12.6ポイント減少し、-6.6となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが-11.5となる見通しである。

前年同期と比較した売上額DIは2.3、同収益DIは-6.3となった。

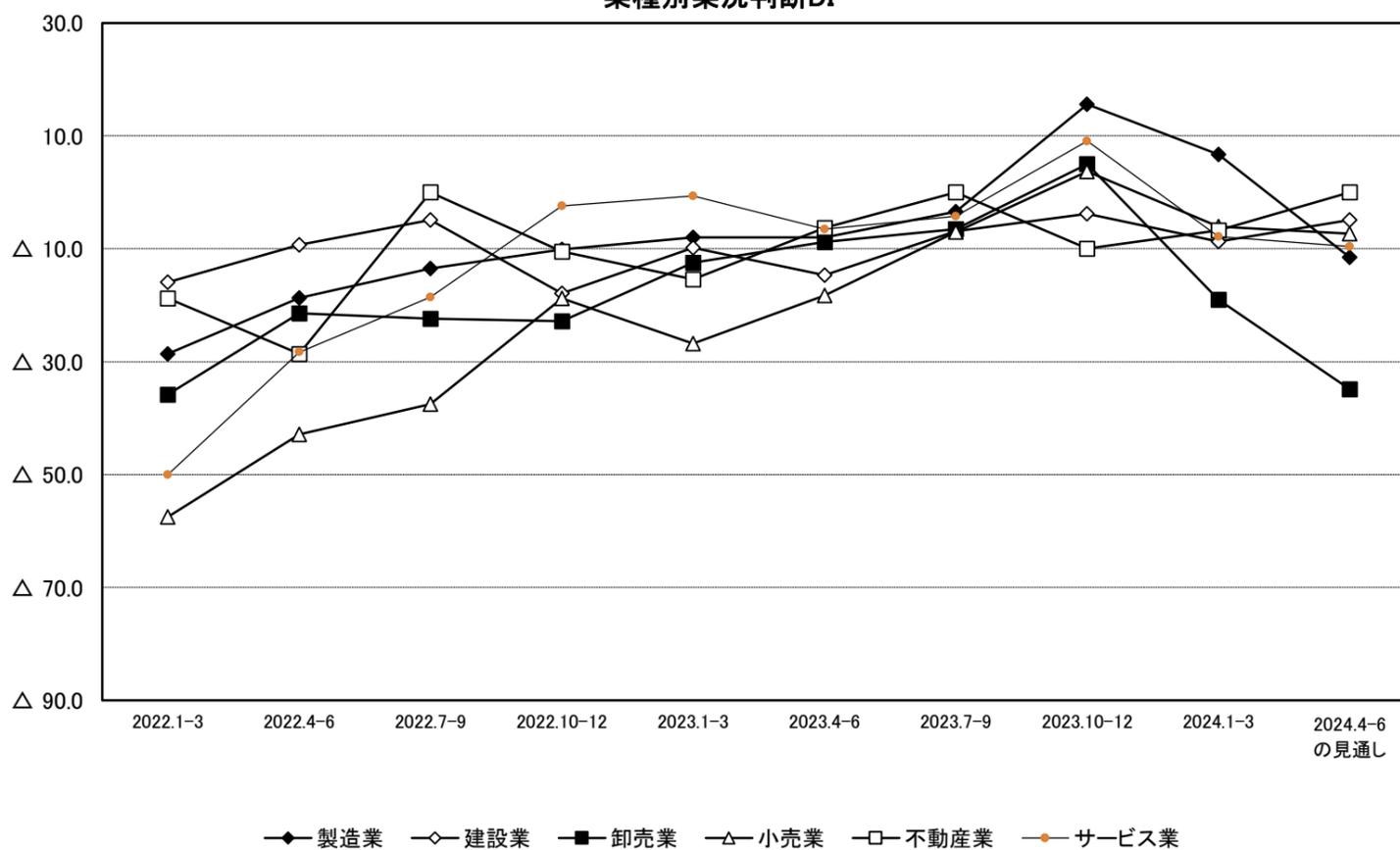
業況判断DIの推移



	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 の見通し
業況判断DI	△38.0	△24.4	△18.0	△12.0	△9.7	△10.6	△5.2	+6.0	△6.6	△11.5
前年同期比売上額DI	△12.4	+10.2	+14.1	+10.5	+14.8	+19.6	+22.9	+18.9	+2.3	-
前年同期比収益DI	△22.6	+0.6	+4.2	△1.7	+3.4	+8.9	+10.3	+7.9	△6.3	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

業種別業況判断DI

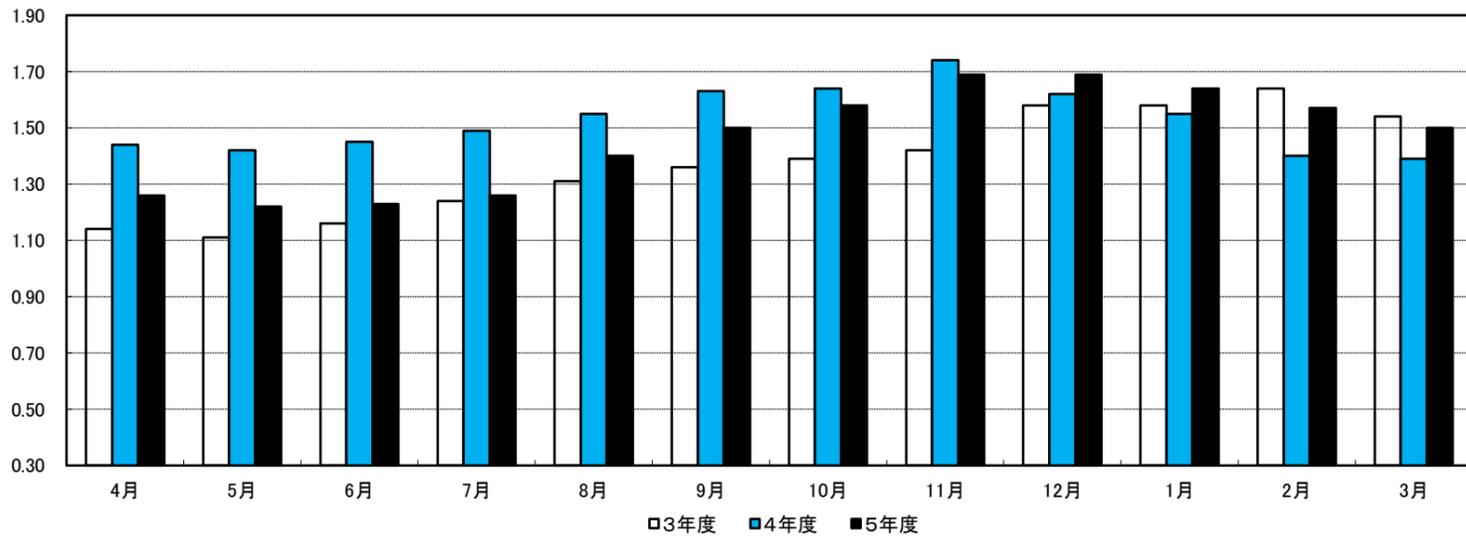


	2022.1-3	2022.4-6	2022.7-9	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6 の見通し
製造業	△ 28.6	△ 18.7	△ 13.5	△ 10.1	△ 8.0	△ 8.0	△ 3.4	15.6	6.7	△ 11.5
建設業	△ 15.9	△ 9.3	△ 4.9	△ 17.9	△ 9.8	△ 14.7	△ 6.9	△ 3.8	△ 8.7	△ 4.9
卸売業	△ 35.8	△ 21.4	△ 22.4	△ 22.8	△ 12.5	△ 8.8	△ 6.5	5.0	△ 19.0	△ 34.9
小売業	△ 57.5	△ 42.9	△ 37.5	△ 18.8	△ 26.8	△ 18.3	△ 7.0	3.7	△ 6.1	△ 7.3
不動産業	△ 18.8	△ 28.6	0.0	△ 10.5	△ 15.4	△ 6.3	0.0	△ 10.0	△ 6.7	0.0
サービス業	△ 50.0	△ 28.3	△ 18.6	△ 2.4	△ 0.6	△ 6.5	△ 4.2	9.1	△ 7.8	△ 9.6

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

2 雇用

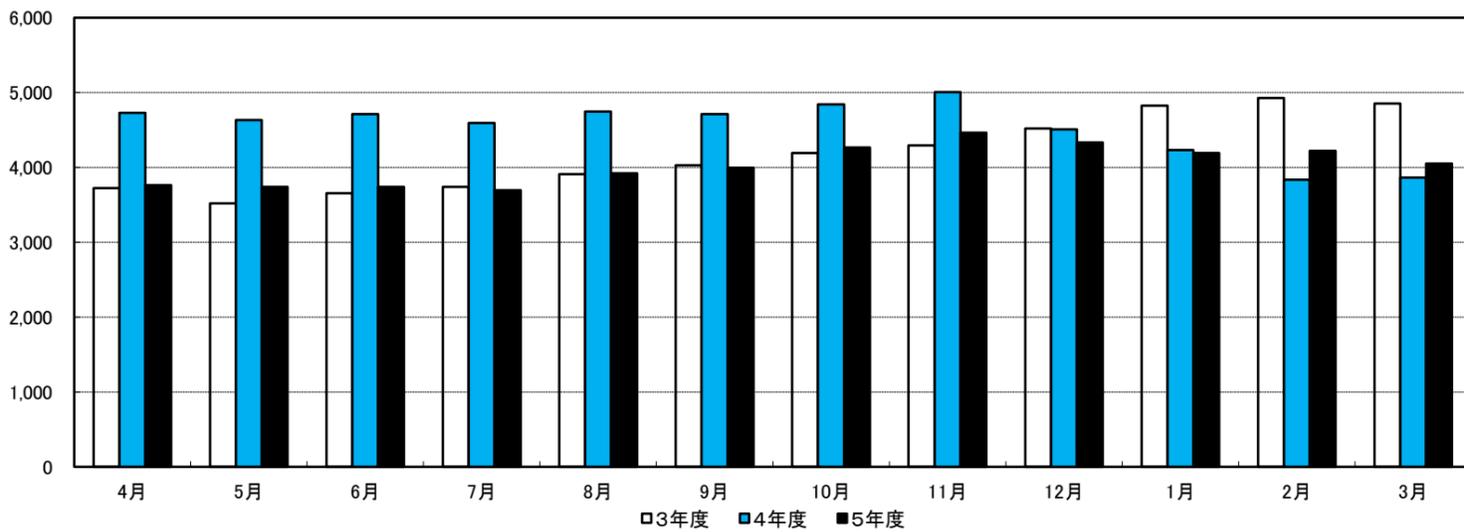
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	1.14	1.11	1.16	1.24	1.31	1.36	1.39	1.42	1.58	1.58	1.64	1.54	1.37
4年度	1.44	1.42	1.45	1.49	1.55	1.63	1.64	1.74	1.62	1.55	1.40	1.39	1.53
5年度	1.26	1.22	1.23	1.26	1.40	1.50	1.58	1.69	1.69	1.64	1.57	1.50	1.46
対前月 (増減)	-0.13	△0.04	+0.01	+0.03	+0.14	+0.1	+0.08	+0.11	0.00	△0.05	△0.07	△0.07	—
対前年 (増減)	△0.18	△0.20	△0.22	△0.23	△0.15	△0.13	△0.06	△0.05	+0.07	+0.09	+0.17	+0.11	—

出典：厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

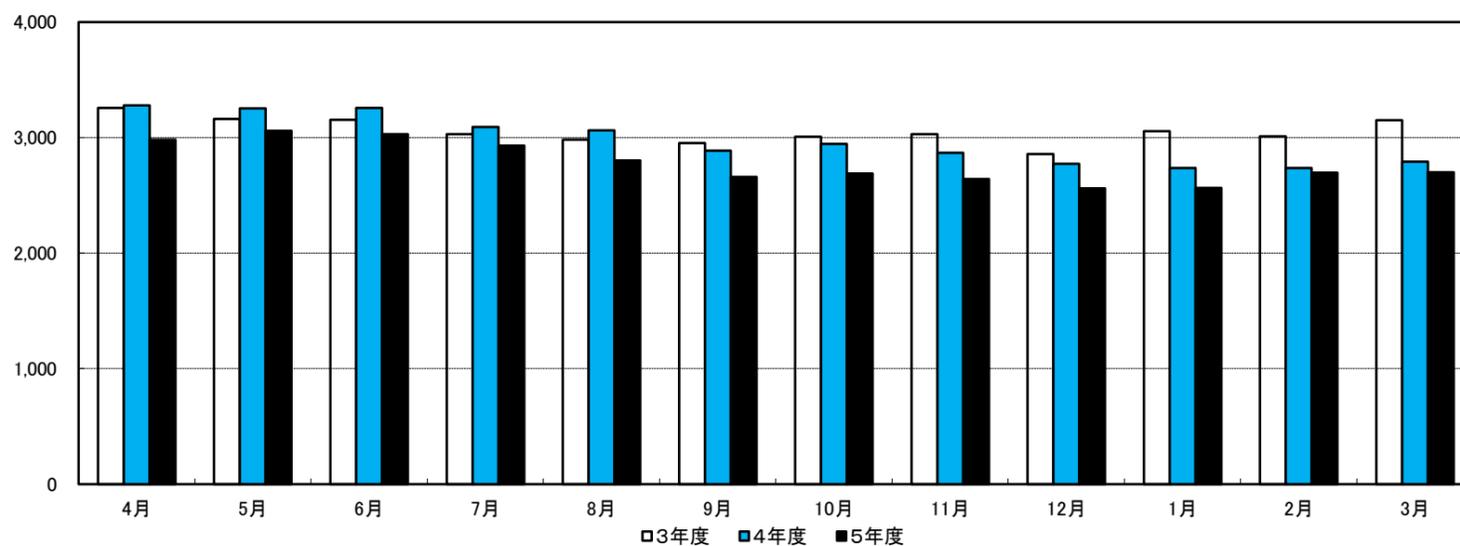
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	3,722	3,518	3,657	3,741	3,911	4,026	4,195	4,292	4,523	4,825	4,929	4,852	4,183
4年度	4,728	4,634	4,710	4,596	4,744	4,713	4,844	5,008	4,507	4,234	3,838	3,866	4,535
5年度	3,763	3,740	3,739	3,693	3,924	3,992	4,265	4,465	4,331	4,193	4,223	4,053	4,032
前月比 (%)	△2.66	△0.61	△0.03	△1.23	+6.26	+1.73	+6.84	+4.69	△3.00	△3.19	+0.72	△4.03	—
前年同月 比(%)	△20.41	△19.29	△20.62	△19.65	△17.28	△15.30	△11.95	△10.84	△3.91	△0.97	+10.03	+4.84	—

出典：厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

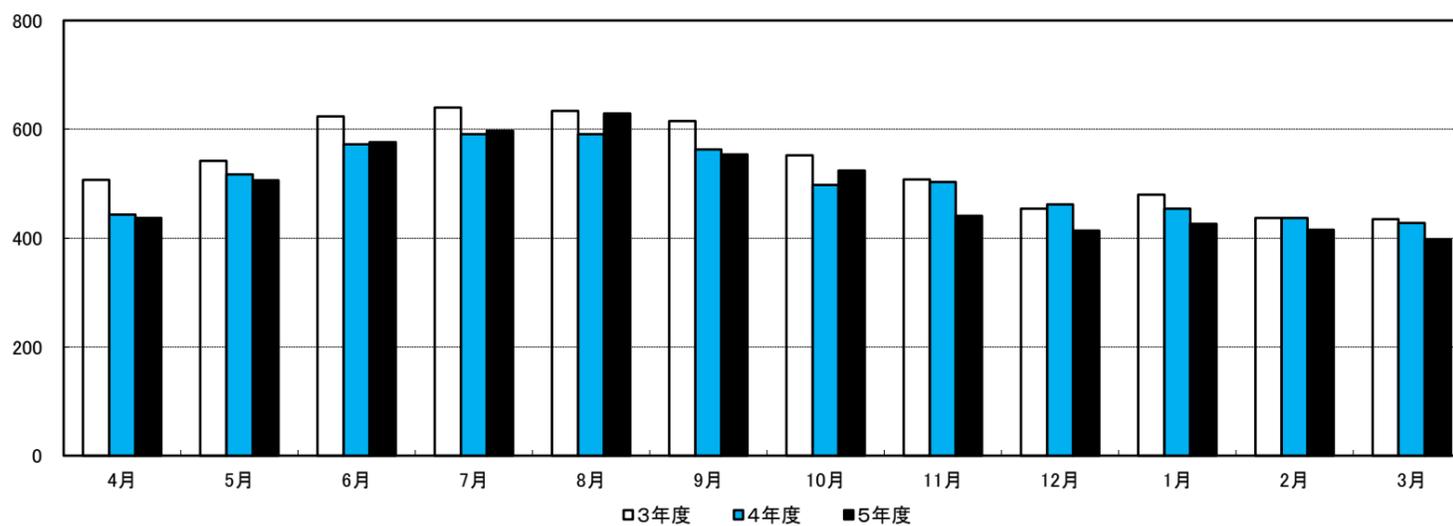
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	3,256	3,162	3,154	3,029	2,982	2,954	3,008	3,029	2,857	3,057	3,013	3,151	3,054
4年度	3,277	3,252	3,256	3,093	3,061	2,886	2,946	2,870	2,774	2,735	2,737	2,791	2,973
5年度	2,981	3,058	3,030	2,930	2,804	2,659	2,691	2,640	2,562	2,564	2,695	2,700	2,776
前月比(%)	+6.81	+2.58	△0.92	△3.30	△4.30	△5.17	+1.20	△1.90	△2.95	+0.08	+5.11	+0.19	—
前年同月比(%)	△9.03	△5.97	△6.94	△5.27	△8.4	△7.87	△8.66	△8.01	△7.64	△6.25	△1.53	△3.26	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

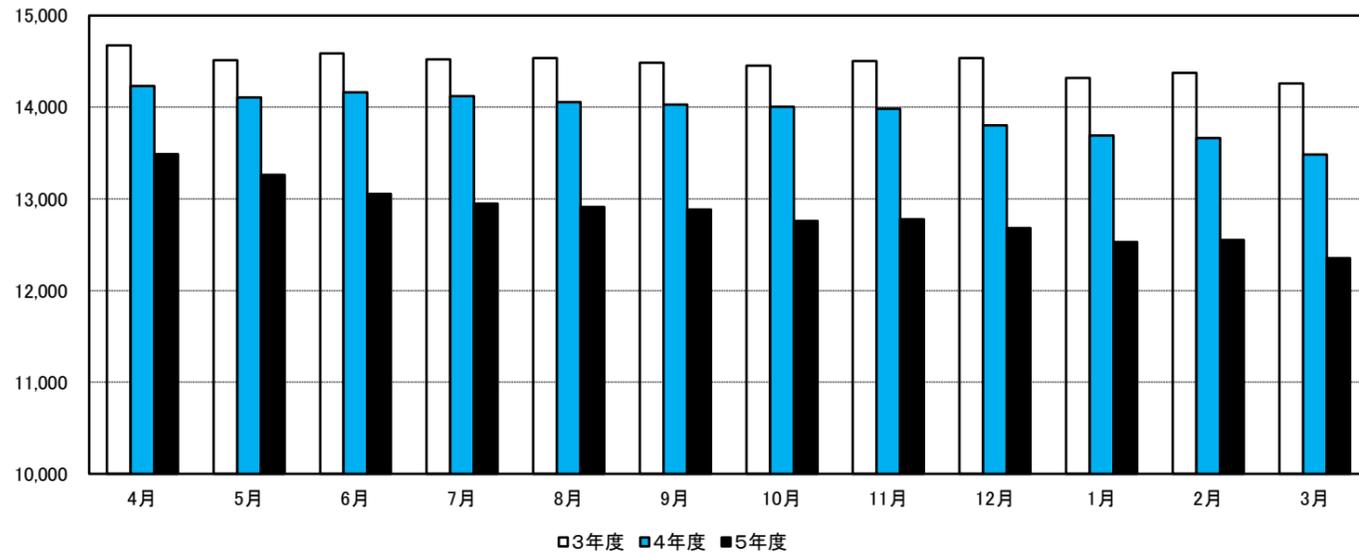


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	507	542	624	640	634	615	552	508	454	480	437	435	536
4年度	443	517	572	591	591	563	498	503	462	454	437	428	505
5年度	437	506	576	597	629	554	524	441	414	426	415	397	493
前月比(%)	+2.10	+15.79	+13.83	+3.65	+5.36	△11.92	△5.42	△15.84	△6.12	+2.90	△2.58	△4.34	—
前年同月比(%)	△1.35	△2.13	+0.70	+1.02	+6.43	△1.60	+5.22	△12.33	△10.39	△6.17	△5.03	△7.24	—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

3 金融

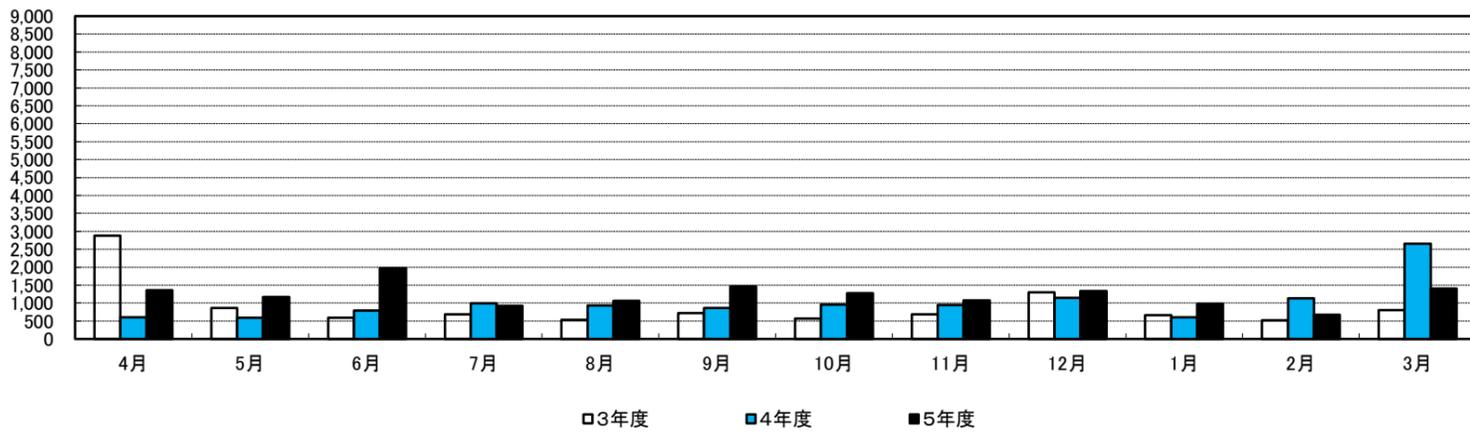
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	14,674	14,514	14,589	14,524	14,538	14,487	14,454	14,505	14,538	14,320	14,377	14,259	14,482
4年度	14,232	14,108	14,161	14,121	14,055	14,027	14,004	13,981	13,803	13,692	13,665	13,483	13,944
5年度	13,489	13,261	13,057	12,947	12,911	12,884	12,761	12,776	12,682	12,528	12,550	12,352	12,850
前月比 (%)	+0.04	△1.69	△1.54	△0.84	△0.28	△0.21	△0.95	+0.12	△0.74	△1.21	+0.18	△1.58	—
前年同月比 (%)	△5.22	△6.00	△7.80	△8.31	△8.14	△8.15	△8.88	△8.62	△8.12	△8.50	△8.16	△8.39	—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

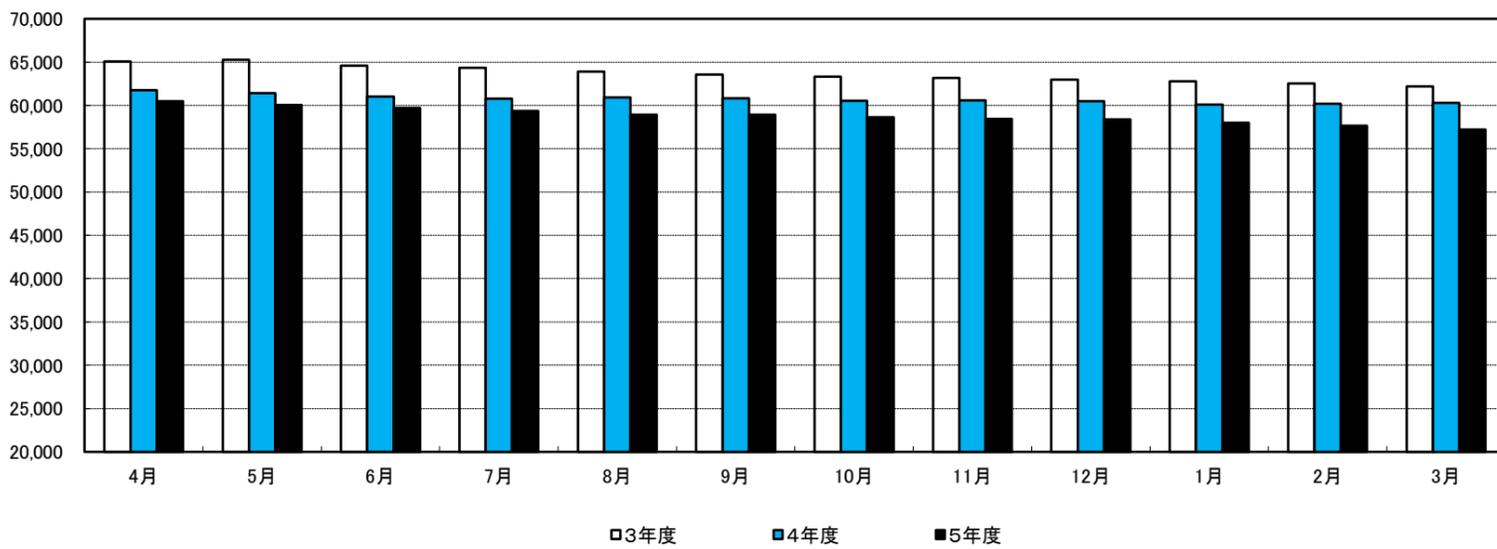
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	2,874	862	588	690	533	716	568	686	1,305	664	519	799	900
4年度	609	595	792	988	930	865	960	945	1,150	606	1,131	2,660	1,019
5年度	1,361	1,166	1,968	926	1,065	1,462	1,273	1,070	1,336	979	675	1,403	1,224
前月比 (%)	△48.83	△ 14.33	+68.78	△52.95	+15.01	+37.28	△12.93	△15.95	+24.86	△26.72	△31.05	+107.85	—
前年同月比 (%)	+123.48	+95.97	+148.48	△6.28	+14.52	+69.02	+32.6	+13.23	+16.17	+61.55	△40.32	△47.26	—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

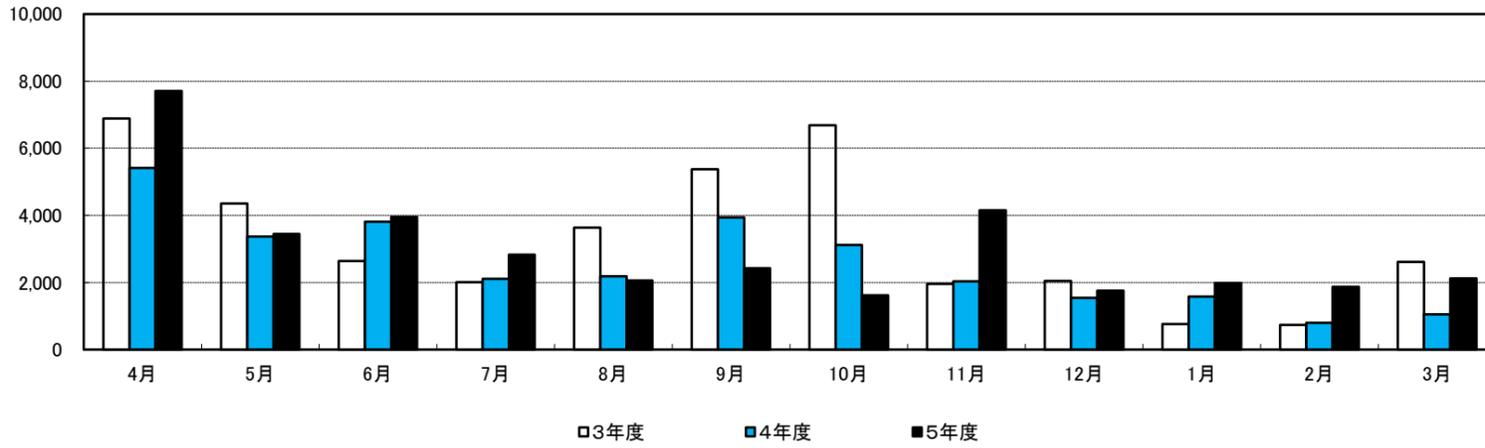


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	65,099	65,265	64,599	64,327	63,901	63,574	63,322	63,155	62,982	62,799	62,541	62,216	63,648
4年度	61,778	61,432	61,006	60,784	60,928	60,810	60,512	60,591	60,510	60,108	60,175	60,279	60,743
5年度	60,486	60,043	59,702	59,339	58,933	58,912	58,651	58,420	58,365	57,976	57,659	57,190	58,806
前月比 (%)	0.34	△0.73	△0.57	△0.61	△0.68	△0.04	△0.44	△0.39	△0.09	△0.67	△0.55	△0.81	—
前年同月比 (%)	△ 2.09	△2.26	△ 2.14	△ 2.38	△ 3.27	△ 3.12	△ 3.08	△ 3.58	△ 3.54	△ 3.55	△ 4.18	△ 5.12	—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

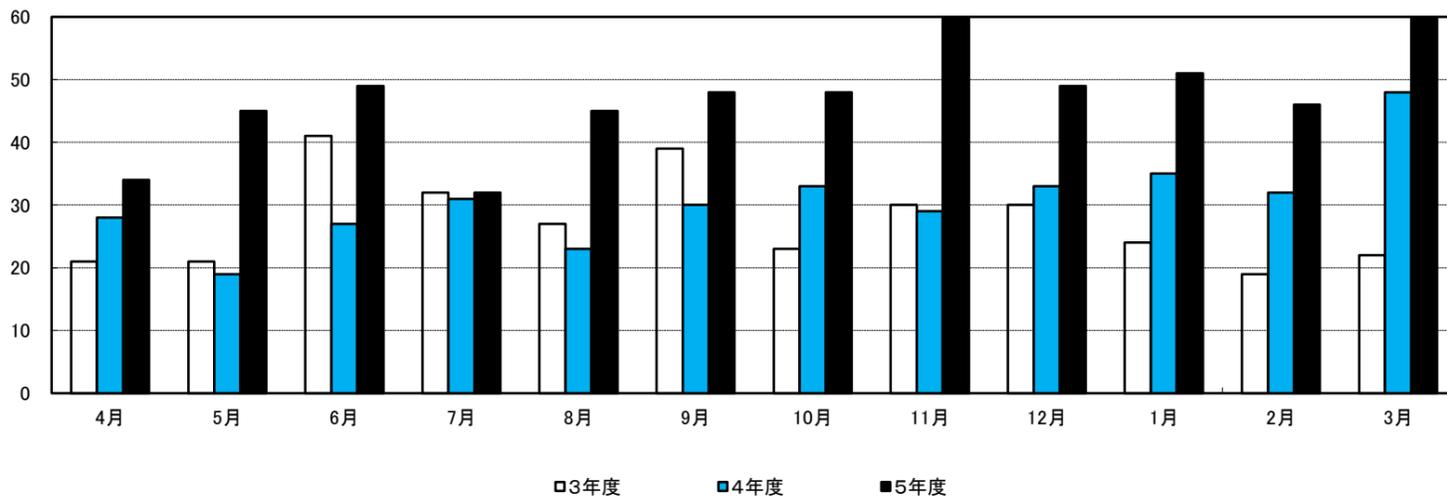


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3年度	6,887	4,349	2,642	2,008	3,636	5,374	6,683	1,961	2,045	755	739	2,619	3,308
4年度	5,418	3,371	3,812	2,107	2,185	3,933	3,120	2,029	1,547	1,576	793	1,052	2,579
5年度	7,702	3,442	3,954	2,824	2,058	2,429	1,619	4,152	1,751	1,978	1,866	2,123	2,992
前月比 (%)	+632.13	△55.31	+14.88	△28.58	△27.12	+18.03	△33.35	+156.45	△57.83	+12.96	△5.66	+13.77	—
前年同月比 (%)	+42.16	+2.11	+3.73	+34.03	△5.81	△38.24	△48.11	+104.63	+13.19	+25.51	+135.31	+101.81	—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

【参考】 企業倒産(全県)

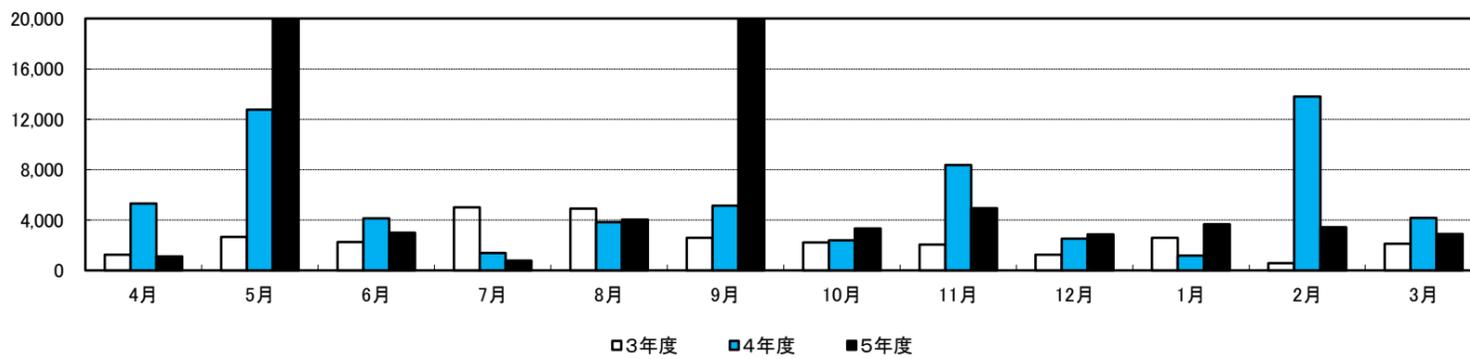
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	21	21	41	32	27	39	23	30	30	24	19	22	329
4年度	28	19	27	31	23	30	33	29	33	35	32	48	368
5年度	34	45	49	32	45	48	48	61	49	51	46	60	568

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

企業倒産負債総額(百万円)

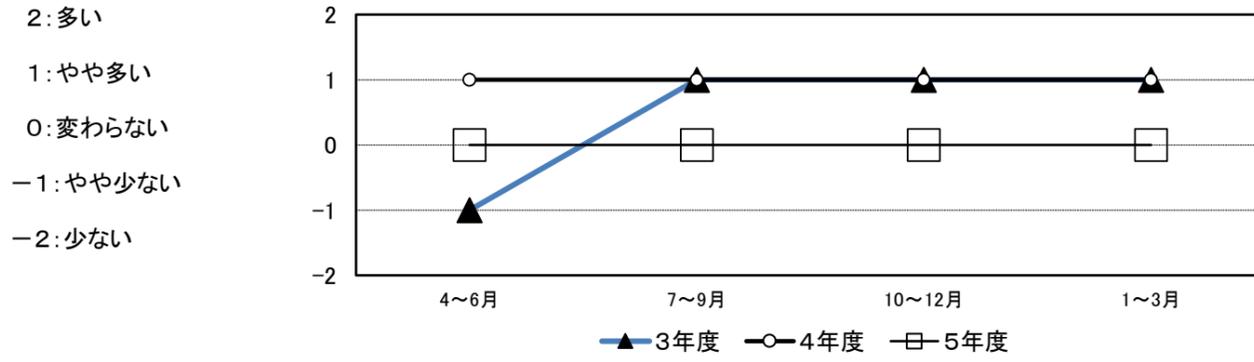


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	1,256	2,661	2,236	5,011	4,891	2,602	2,209	2,063	1,240	2,583	564	2,129	29,445
4年度	5,314	12,765	4,121	1,394	3,815	5,130	2,372	8,351	2,506	1,166	13,817	4,179	64,930
5年度	1,118	63,967	2,976	765	4,020	586,902	3,325	4,949	2,869	3,658	3,412	2,878	680,839

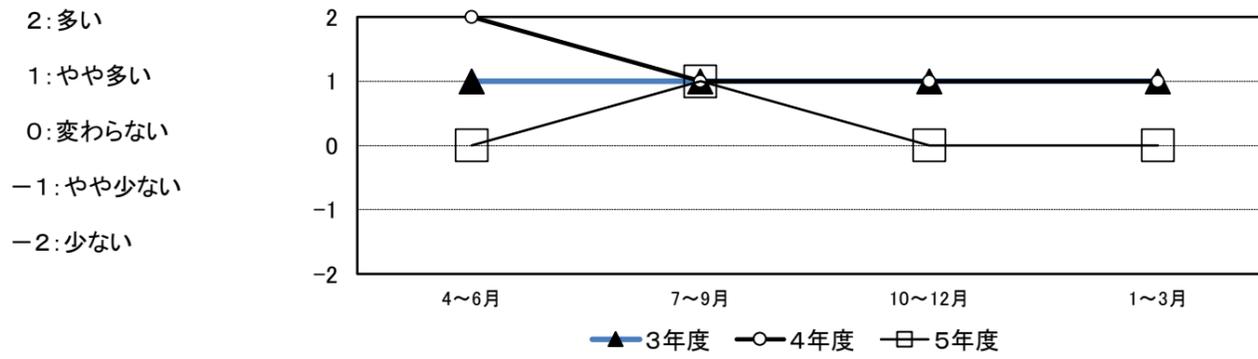
出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

5 地場産業(豊岡かばん)

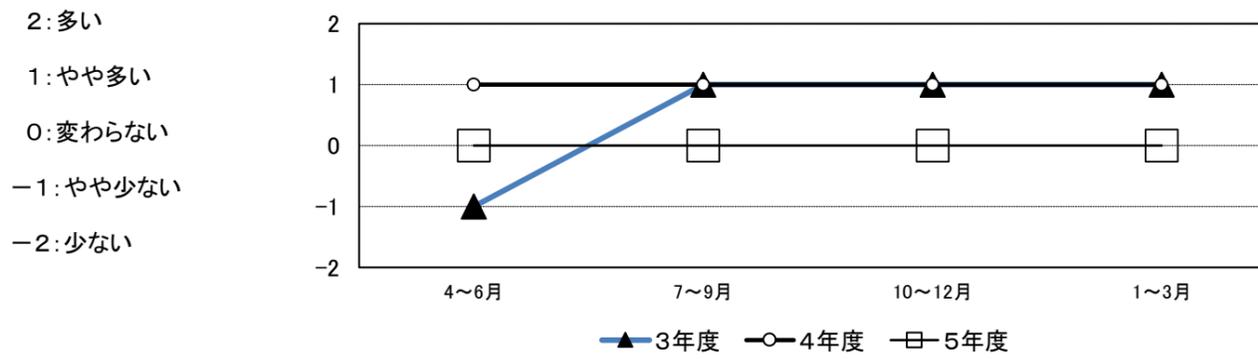
豊岡かばん 売上高 (前期比)



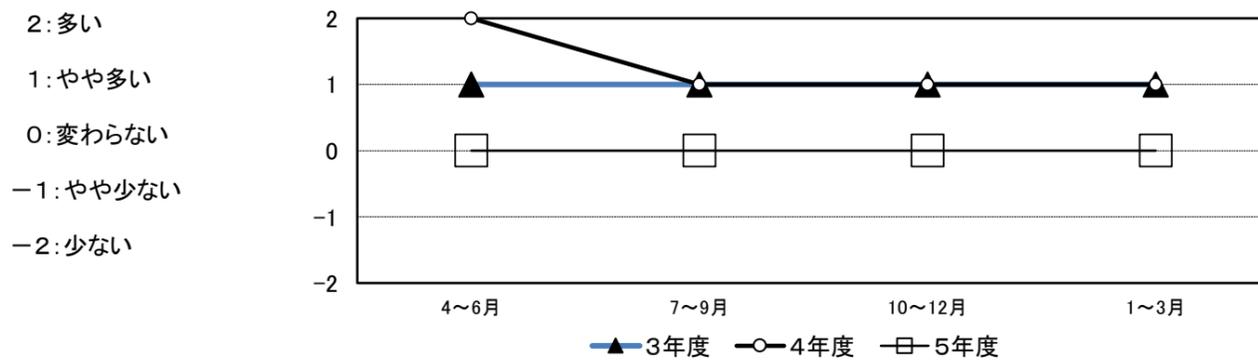
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)



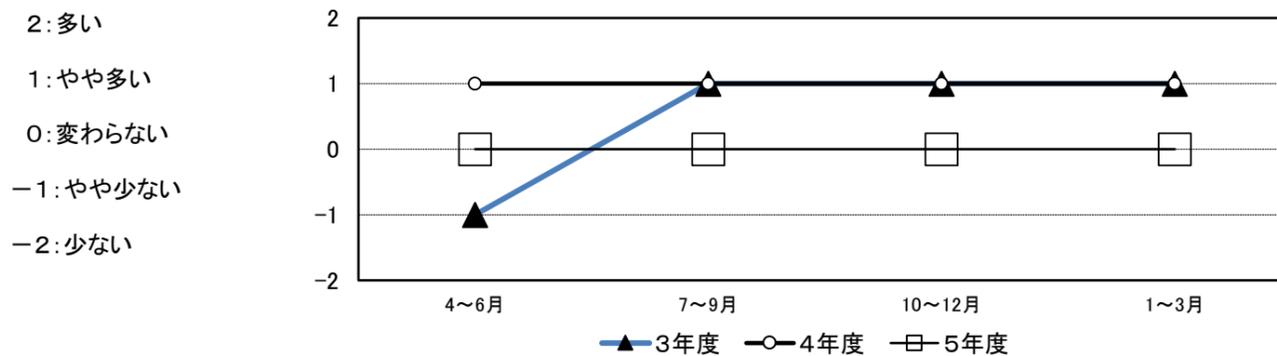
豊岡かばん 生産量 (前期比)



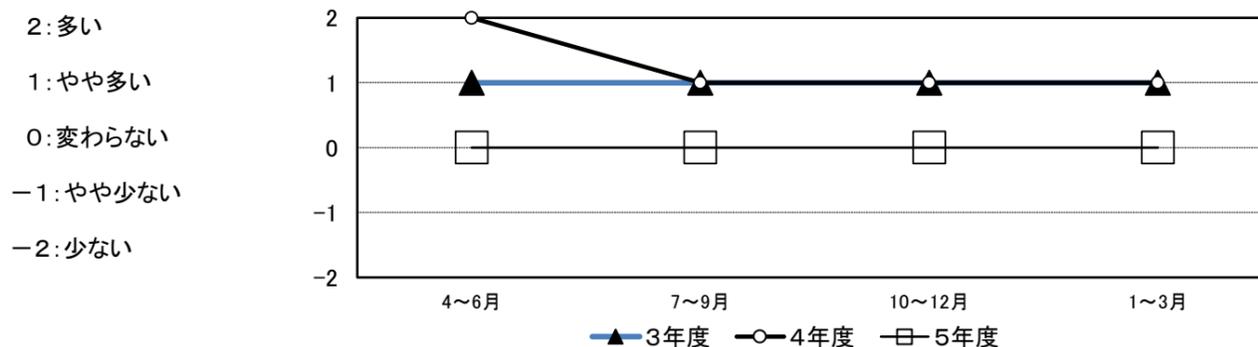
豊岡かばん 生産量 (前年同期比)



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(令和5年10~12月)と比べて売上高、生産量、収益とも変わらず。

前年同期(令和5年1~3月)との比較でも、売上高、生産量、収益とも変わらず。

前期と同様に人の流れも増加し、生産の方は相変わらず人手不足で、納期に追われ、多忙を極めている企業も多い。OEMの仕事は、かなり好転しているが、大量生産のOEM企業の生産は落ち着きはじめた。小売りが思うように伸びず、大手鞆卸企業の在庫量が増えてきたようであり、安定してきた。

現在は、OEMの生産後、新規のOEMが入り、予想より好調ではあるが、相変わらず人手不足である。一方、材料の高騰や人件費・光熱費など経費が高く、利益は相変わらず厳しい状況である。職人の確保ができれば、生産高もアップできるため、職人、外注の確保が急務である。

5月以降の仕事の目安もあり、経営状況は落ち着いているが、上代のアップの交渉が今後必要である。卸業者は、旅行の増加に伴いキャリーバッグは好調であるが、その他の鞆は伸び悩んでいる。

人手不足を解消するため、2018年に制定された特定技能制度に、鞆業界、皮革産業が外国人を5年間受け入れることができるよう、外国人技術認定実習2号追加認定のため、(一社)日本鞆協会を通じて鞆業界全体で取り組むこととなった。この3月に、国際貢献の外国人技能実習制度から人手不足を解消する就労育成、特定技能制度に法の改正が行われた。今後、制度を受けるには、鞆業界全体を巻き込んだ取り組みが必要であり、また、2027年までに外国人技能実習の実績をあげなければならない。

豊岡鞆協会 回答

6 主要業種の概況

<p>旅客運送業</p>	<p>景況感はさほど良くない。特急バス利用客は増加傾向で需要はあるが、運転士不足で一部の便で減便や運休している。運転士の待遇改善も検討を進めているが、人材確保のためバス運転体験会を開催し企業認知度向上を図っている。地域外からの参加者には、就職後を見据えた移住相談に対応している。</p> <p>経営面では軽油の価格高騰が続き、2022年10月頃から昨年12月までに累計115%程価格上昇した。このため一部の便で運賃値上げを実施する。</p>
<p>食料品製造業</p>	<p>景況感はさほど良くない。第4四半期は前四半期比で売上高59%の減少。利益も159%と大幅減少を見込む。不漁により水産加工ラインで製造する商品の原価が高騰していることが、主な要因である。販売価格の据え置きは厳しく価格転嫁しているが、相次ぐ原価値上げで転嫁も追いつかない状況にある。営業努力を続け、今後の方針として、商品を高付加価値化し購買意欲のある消費者層獲得に力を入れたい。社内後継者教育の観点から、65歳以上の経験者を中心に雇用を進めている。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和6年1月)」より

<p>銀行業</p>	<p>取引先及び管内企業の当月景況感はさほど良くない。3カ月後も同様である。地場産業(靴業界)は管内への観光客数回復に伴い、売上好調と見られる。業種全体で人材不足であり、一部業種では積極的に海外人材登用も検討している。</p> <p>自らの賃金改定については、R6年4月入行職員の給料引上げを予定している。管内企業の原材料価格高騰に伴う価格転嫁は概ね実施済み。管内企業の設備投資は堅調に推移。実績は前年度並み。運転資金に大きな動きはみられない。</p>
<p>金属製品製造業</p>	<p>前四半期と比べ、取引先の製品増強に伴い、自社製品への受注・需要が高まり売上高、利益ともに増加したことから、当月及び3カ月後の景況感は良いと見込む。</p> <p>雇用形態改革として、選択定年制(60～65歳)制度をR5年度から実施。対象者の9割強が65歳までの定年延長を希望している。中途採用は人材紹介サイトなどを活用し随時募集しており、年間で30名以上採用している。来年度は近隣高専卒業生からの採用を見込めるよう採用のあり方を検討する。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和6年2月)」より

<p>建設業</p>	<p>景況感はさほど良くない。1～3月期の売上高は、前年同期比で10%減少の見込み。設備投資計画は現場で用いる建設機械の入替を予定している。原材料価格の高騰に伴う価格転嫁時期は不明。</p> <p>雇用では、新卒者、中途採用者ともに募集しているが応募はほとんどない。技術職部門が著しく不足している。県内出身者の採用に苦戦しており、県が積極的に企業説明会等を開催する等支援してもらいたい。</p>
<p>宿泊業</p>	<p>景況感はさほど良くない。コロナ禍以前の数値まで回復していないが、宿泊者は国内個人旅行客が主で、海外客は日帰り利用が多い。地域全体の消費需要は回復半ばであり、切れ目のない観光支援を実施してほしい。</p> <p>雇用については今年度3～5名の採用を予定する。調理部門が不足の状況にある。ハローワーク等での募集や、地域外での採用説明会を実施している。働き方改革として全館休館日を継続実施しているが、休館日増加も検討したい。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和6年3月)」より